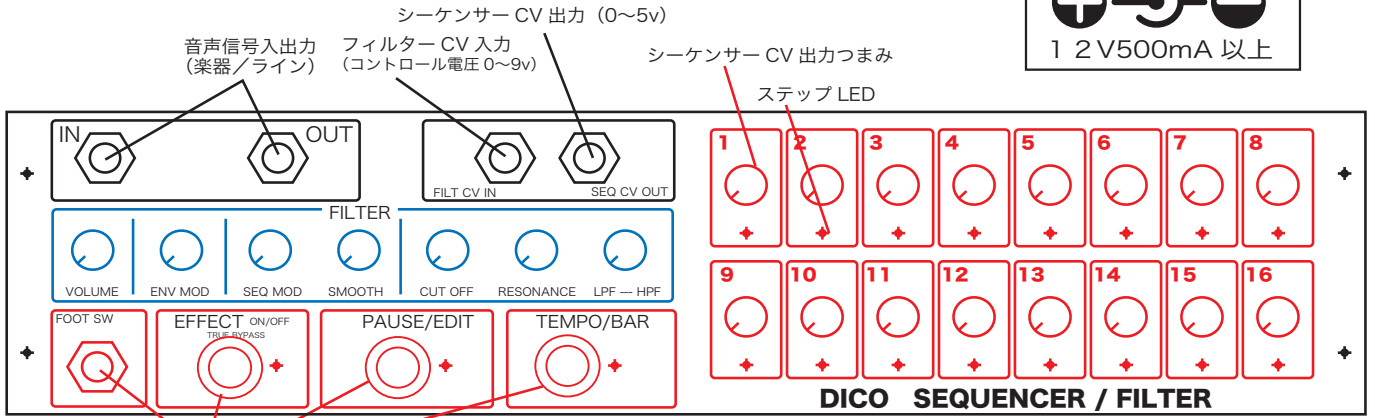


SEQFILT つかいかた

※電源は 12V アダプター
(チップ+、リングタイプ)



ステップシーケンサー部分の説明

- EFFECT/ ON OFF** : エフェクト音とダイレクト音を切り替え。
トゥルーバイパス (直結) 構造なので、電源が落ちてもダイレクト音は鳴る。
OFF 中もシーケンサーは走っているのでテンポ入力は出来る
- TEMPO/BAR** : タップテンポボタン。
1 回目のみ 1 ステップ目からスタートになる。LED が一定時間光りっぱなしになって次のタップ入力待ちモードになる。長押し 0.5 秒で入力待ちモードを抜けられる。
2 回目以降は拍子アタマのステップへ強制移動する。
過去 4 回分の時間計測 / 4 でスピード設定。
(押し損ないは、以後 4 回分に影響するのですぐに長押しで抜けてやり直した方がいいです)
間隔があまり早すぎると反応しないようになっている。
走行中のずれ直し (小節頭出し) は長押しするほうがよい。(入力待ちモードを回避するため)
押しながら他の 2 つのボタンを押すとスピード調整。(他の LED がチカチカする)
- PAUSE/EDIT** : 一時停止。
一時停止中は他の 2 つのボタンで移動できる
★長押し 2 秒で EDIT (拍子設定) モード
拍子設定モードは走行がとまって現在の拍子設定 (1 拍子~16 拍子) がステップ LED に表示されるので、他の 2 つのボタン (TEMPO と ON OFF) で設定して、もう一度 PAUSE/EDIT を押すとセットして拍子設定モードを抜ける。
奇数拍子では、ステップバック位置が変わる。(例えば 3 拍子なら 12 ステップが最終)

FOOT SW TEMPO/BAR と同じ。W クリックで EFFECT/ ON OFF
※ハングアップした場合は電源を抜いて再起動してください。電源を抜いても、スピード、拍子設定は記憶しています。



※入力は楽器は直でも使えますが
ノイズの面で、ミキサーやプリアンプなどで
ラインレベル近くまで上げた方がいいでしょう。
マイク直は多分だめです。

フィルター部分の説明

※フィルター回路は状態変数形フィルターといって、高音側、低音側の 2 つの出力に音を分離する、いわゆるアイソレーターです。

- VOLUME** : 説明なし。
- ENV MOD** : 入力音源で CUTOFF をコントロール (タッチワウ)
- SEQ MOD** : シーケンサーのモジュレーション量
- SMOOTH** : シーケンサー CV の波形整形
- CUT OFF** : ローパスフィルター、ハイパスフィルターそれぞれのカットオフ周波数 (でなくなる音の高さ)
(ENV MOD, SEQ MOD はこのカットオフつまみを開ける方へモジュレーションするので、
カットオフが開きすぎているとモジュレーションがかかりません。)
- RESONANCE** : レゾナンス。アナログシンセのと同じ。上げると正帰還で音がぎらついてカットオフ周波数の辺にピークが出る。自己発振はしない。
- LPF-HPF** : ローパスフィルター、ハイパスフィルターのバランスミキサー。真ん中だと全音域出るがレゾナンスによる音色変化とピークは出る。

0~5v 程度の電圧出力が出来る CV ペダルがあれば、ワウペダルとしても使えます。

MIDI の説明

- MIDI は同期用のみ。MIDI クロック、スタート、コンティニュー、ストップの 4 つのみに対応。他のデータはすべて無視する。チャンネル設定も必要ありません。
- アナログフィルター部分は非対応。
- 送り、受けともほぼボタンどりの動作をするはず。
- MIDI OUT は常時クロックを出力していて、
ON/OFF -- スタート/ストップ
PAUSE --- ストップ/コンティニュー
TEMPO --- 1 回目のみスタート、以後はクロック周期変化という動作。
- MIDI IN は、クロックがあると MIDI スLEEP モードに自動的にはいって、(LED の点滅が変わる) クロックが止まると約 1 秒で自動的に抜ける。
- ☆MIDI スLEEP モードの時は拍子設定は 1,2,3,4,6,8 拍子のみ。